

都市計画学会中国四国支部特別講演会

テーマ 「高齢者の都心居住のための都市環境整備」
—徳島市における生活環境施設整備を事例として—

講演者 近藤光男氏（徳島大学大学院 教授）

日時 2008年7月26日（土）15：30～17：30

場所 コンフォートホテル広島 会議室A （第2回幹事会に引き続き開催）

参加 無料

申し込み （株）荒谷建設コンサルタント 長谷山あて（7月24日（木）まで）

E-mail hiroshi.haseyama@aratani.co.jp

近藤光男(こんどう あきお)氏

<現職> 徳島大学大学院 教授

- ◇ソシオテクノサイエンス研究部エコシステムデザイン部門
- ◇先端技術科学教育部環境創生工学専攻(併任)
- ◇工学部建設工学科(併任)

<略歴> 1953年 徳島県生まれ

1981年 京都大学大学院工学研究科 修了

1987年 英国ウエールズ大学 客員研究員

1996年 徳島大学工学部 教授

1997年 徳島大学大学院工学研究科 教授

2006年 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授



<著書> 『図説都市地域計画』(共著)丸善(2001年)

『快適環境の社会心理学』(共著)ナカニシヤ出版(2001年)

『土木用語大辞典』(分担)技報堂出版(1999年) ほか多数

<講演の趣旨>

現在、わが国は、人口減少が進行するとともに、高齢社会を迎えるという今までに経験したことがない大きな時代の転換期にある。特に、地方都市ではこの現象が顕著であり、中心商店街の衰退と相まって、都心部では活力が低下している。一方、都心部では、日常生活に必要な施設がまだ存在しており、高齢者の生活行動を考慮すると、生活の場として十分機能する。

そこで、高齢者の都心居住を進めることは都心部の活力を取り戻すことに貢献できるとの考えに基づき、そのための都心整備の方策について、生活環境施設の整備に着目した話題を提供する。

具体的には、徳島市を対象として、中心市街地において高齢者が歩いて暮らせるような空間を創造するための計画情報として、高齢者の意識調査に基づいて、施設の重要性や施設の配置距離等を計量的に明らかにした。講演では、そのための手法や得られた結果について紹介する。